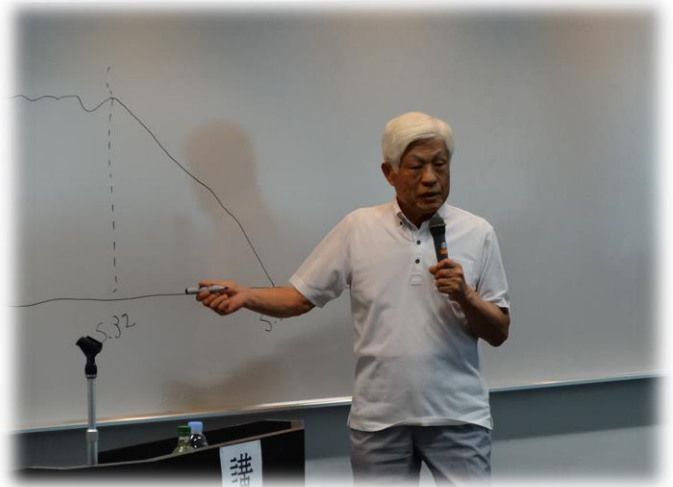


平成 29 年 7 月 9 日（日）岩手県盛岡市のアイーナいわて県民情報交流センターにて、東北支部認定講座が開催されました。猛暑の最中でしたが、近隣の県だけでなく新潟など遠方からもお越し頂き、総勢 56 名の方が参加され、盛会となりました。

講演 1 「地域医療と鍼灸」では、緑陰診療所 所長 増田進先生より、岩手県沢内村（現・西和賀村）でこれまでの医療の取り組みについてお話しいただきました。医療と福祉の境界が不明瞭の中、医師として葛藤しながら、住民が健康で長生きであることを第一に考え、鍼灸治療を取り入れるなどして地域医療に取り組まれました。患者である地域住民と関わる生き様のお話しは、鍼灸師だけでなく、医療人として気持ちの引き締まる思いがしました。



図で説明をしながら熱弁される 増田進 先生

講演 2 「社会鍼灸学の歩み」では、筑波技術大学 名誉教授 形井秀一先生より、個人の養生の関わり方、ひいては鍼灸とのかかわり方を紐解くにあたり、背景として、これまでの日本における鍼灸の普及そして発展についてお話しいただきました。「今後を見据え、いま刺している鍼が世界に広がっている意識を持とう！」という言葉が印象的で、鍼灸師一人一人がこれからの鍼灸の歴史を培うのだと強く意識させられました。



鍼灸の歩みについて講演される 形井秀一 先生

講演 3 「治療家のための医療面接」では、目白大学大学院心理学研究科 教授 奈良雅之先生より、医道の日本に連載されている、駆け出し鍼灸師を主人公としたマンガと解説コラム用い、それぞれの医療面接のテーマに則って、臨床的な意義や方法などを解説いただきました。心理的な効果が工夫された描写はとても興味深く、マンガの題材としても引き込まれてしまいました。今後のストーリーについてもふれられ、次号以降の展開がとても楽しみです。



マンガとコラムを用いて解説される 奈良雅之 先生

次回は 10 月 15 日（日）宮城県仙台市 東北大学医学部を会場として学術集会を開催します。多数の方のご参加、そして研究発表、症例報告などのエントリーをお待ちしております。